

Musée Bernard Buffet



Buffet-Kun e-book vol.12

ロシア(91)、フランス(93)、ドイツ(94)、日本(95) などなど...

90年代には
世界各国で
大規模な
展覧会が開催され
ベルナル・ビュフェ
への再評価が
高まりました。

しかし...



1997年、69歳の時に
パーキンソン病を

発症。

手足の震えや
筋力の二かばり(やまい)を伴う
病です。

画家に
としては
致命的。



僕は
もう...

この病は時に
亡りを伴うことも。

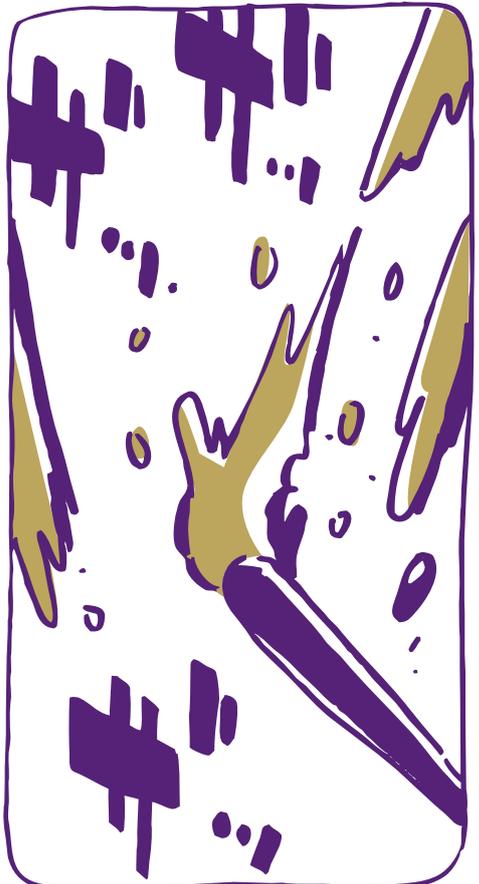
なお、心身の健康について語るならば、
ビュフェは過去2度(1969/1981)
アルコール中毒治療を
受けています。



引退という選択肢もあつたのでは…?

しかし、ビュフェは
病いを発症してもなお、
11かだからこそ (!?)
筆をとりました。

ビュフェくん!



ベルナール・ビュフェがその生涯で
最後に選んだテーマは「死」。
病発以前とは明らかに異なる
荒々しい筆致。

La Mort



絵画は私の命です。これを
取り上げられてしまったら生きていけない
でしょう。絵画は今までも私を支配
してきたし、これからもずっとそうだと
思います。絵画はすべてを破壊し
食いつくすものです。(ビュフェ談)

絵が「命」ならば、それを奪われたら、残るものは…?

絶望の果てがミイカおもしろがり切ったのか!!!

1999年、
「死」シリーズを描き終え
6月末に筆を折った
ビュフェは、10月4日
自宅にて自死。
享年71歳。

翌年2000年に
最後のテーマ展
「死」が開催
されました。

作「死」の「死」(899-1) ←

そして20年以上が過ぎた現在も……

「死」は「死」の「死」。

その作品と
美術館の中に
ビュフェは
生き続けて
いるのです。

ほわわわ

いつでも
会いに来てね!

わ、

おしまい

おまじゅく!!!

ご愛読 Merci でした!!

海〜!!



ベレー帽

画家だからベレー...
という訳ではなく、
東京の土地カン=カズミで
撮られた
幼少の写真に由来。
(1937年頃)

※この頃から見た目は
子どもそのまま。
9歳で時が止まっています。



1975年11月25日

ビツメ美術館の
開館セレモニーで

妻アタベルが植えた樹。

その精霊化が **ビツメくん** の正体です。

年齢は美術館と同11年。現在46歳!!

最終回記念! 画家本人!? 樹の精霊!?

ビツメくんのまよひ!!



「110歳
貴重
樹

覗いてみよう!



まけ!? ビズエックの「ネーミング」

「おっでべルナル・ビズエック」
できました。

あし
しゃんてー



ほん
じゃーる



(44)
報



1951年の大作
「刊の愛報: 答刊」に
描かれた報を11も
持っている。

家族



子どもの姿ですが「家族持ち」。
妻アヤベル、子どもは3人
ガエルジー、ダニエル、ニつう。
犬も飼っています。

「ダニエルと
ガエルジー」
(1971)



現在の
所蔵作品は
2000点超って
あるんだって

いつでも
ここで
待ってるよ!

はじまりは110作品

余110の作品は、フランスから日本へ移し植えられるた
る芸術の木であります。大地に根を張り、
まはげて、やがて大きな緑の蔭をつくること

思います」(岡野喜一郎・談)

